

令和3年度「天沼小学校がめざす教育」のご紹介

杉並区立天沼小学校運営協議会
会長 高橋 武郎
杉並区立天沼小学校
校長 松野 泰一

天沼小学校は、保護者・地域の人たち※Ⅰ・学校※Ⅱがともに知恵を出し合い、協働することで、よりよい学校づくりを進めるコミュニティ・スクール(CS)です。(詳しくは「もっと知りたい!天沼小の取組」最終頁をご覧ください。)

コミュニティ・スクール(CS)は、学校運営協議会が中心となっています。

そのため、学校運営協議会では、今年度の「天沼小学校がめざす教育」を皆様にご理解いただくためのご紹介を作成しました。この内容をご確認いただき、一年間、本校の教育活動と学校運営へのご参加・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

また、裏面には、保護者・地域・学校が一体となって子どもたちの育成にあたっていききたいと考え、皆様と共に取り組みたいテーマ「今年度の目標」を提案しています。ぜひ一緒に取り組んでいきましょう。

※Ⅰ 以下「地域」とする。 ※Ⅱ 校長・教員・職員の総称とする。

天沼小学校がめざす教育

「わかるおもしろさ」「人とかかわるおもしろさ」
「元気に育つおもしろさ」「体験・交流するおもしろさ」をめざして

～ おもしろいこと、しよう。～

学ぶ面白さや体験する面白さを通じて、すべての人とかかわって生きることの喜びを感じ、この地域の構成員としてより良く生きていこうとする人間の育成をめざしていきます。

【令和3年度 天沼小学校がめざす教育】

今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応により、教育活動にも様々な制限がかかることが予想されます。しかし、このような状況の中でも学校がめざすものは変わりません。

今年もこれまでのような活動ができるかは現時点では分かりませんが、可能な範囲で取り組んでいきます。

この「天沼小学校がめざす教育」は、昨年度の学校評価の結果を踏まえ、今年度の天沼小学校の取組を皆様に分かりやすくご紹介するために、学校運営協議会で協議し「21のポイント」にまとめたものです。

新型コロナウイルスの影響により変更が生じるかもしれませんが、現在予定されている項目を掲げます。

【「学校評価」アンケート調査について】

また、学校運営協議会では平成23年度より独自の「学校評価」を作成し、皆様のご意見を集めています。これは、校長の「学校経営方針」に基づく、特色ある教育活動や重点とする指導事項について、児童・保護者・地域・学校へのアンケート調査を実施し、その結果を受けて一年間の振り返りを行い、次年度の学校運営に生かしていくという取組です。

この「天沼小学校がめざす教育」に基づき進める教育活動について、「学校評価アンケート調査(令和3年12月を予定)」により皆様の声としてご評価ください。

【今年度の目標】 保護者・地域・学校が一体となって取り組むテーマ

学校運営協議会では、コミュニティ・スクール(CS)として、保護者・地域・学校が一体となって子どもたちの育成にあたっていききたいと話し合い、毎年、皆様には子どもたちの育成に向けたテーマへの取組を呼びかけています。今年度は、新たに下記のテーマを目標といたします。

保護者・地域・学校が協力し合って、子どもたちには以下の目標への声掛けをしましょう

低学年の目標

しっかりあいさつしよう!

あいさつは日常生活の基本です。学校でも、家庭でも、地域でもあいさつをしましょう。

- ・へんじ
- ・あいさつ
- ・ありがとう
- ・ごめんなさい

中学年の目標

相手のことを思いやろう!

自分が言われて、されて、嫌なことは相手にもしない。

相手が喜ぶことは何だろう?と考えられる力を持てるように声掛けしましょう。

高学年の目標

社会のできごとについて話し合おう!

社会で起きているできごとを話し合う機会を持ちましょう。学力調査の結果を見ても、この機会のある家庭の子どもたちの学力が向上していると示されています。社会のことに目を向けられるようコミュニケーションを取っていきましょう。

【あまぬま学びの約束】 学校生活での基本ルール

1 授業の前

- ① 休み時間のうちにトイレに行くなど用事をすませてください
- ② 次の学習に必要なものを机の上に出しておきましょう

2 授業中

- ① 授業の始まりには挨拶をしましょう。
・いすにすわったままでよい姿勢をしましょう
(例)「よい姿勢をしてください(気をつけ)」「これから〇〇の勉強をはじめます」
「よろしくお願いします」
- ② 授業中
・発言をするときはだまって手をあげましょう
・名前をよばれたら「はい」と返事をして立ちましょう
・発言の最後は「～です」「～ます」で終わり、席につきましょう
(*教室掲示「声のものさし」で、声の大きさを確認しましょう)
・先生や友だちの話を聞く時は、だまって最後まで、しっかり聞きましょう
・正しい姿勢や、正しい鉛筆の持ち方で学習しましょう
- ③ 授業の終わりには挨拶をしましょう。
・いすにすわったままでよい姿勢をしましょう
(例)「よい姿勢をしてください(気をつけ)」「これで〇〇の勉強を終わります」
「ありがとうございました」

3 ふてばこの中に入れておくもの

- *けずった鉛筆 5~6本 *赤鉛筆 1本 *消しゴム 1個 *定規 *名前ペン
- *シャープペンシルは持ってこない。*勉強と関係のないものは持ってこない。
- *高学年は、必要に応じて、筆箱に入るだけの色ペンをもってきてよい。

4 道具箱の中にならずに入れておくもの

- *のり *色鉛筆 *はさみ *セロ



わかるって面白い

1. 基礎学力の定着（「学んでわかるおもしろさ」をめざして）
「あまぬま学びの約束」に基づき、言語活動の充実やグループ制・専科制の導入、学習後のフォローアップの整備などを通じて、基礎的な学力の習得・定着に取り組んでいきます。

- ① 「あまぬま学びの約束」の実践
学校生活の基本ルールを身につけ、学習や運動に集中できる環境づくりをめざします。
- ② すべての教育活動での言語活動の充実
コミュニケーションの基本となる「聞く」「話す」「読む」「書く」をしっかりと身につけます。
- ③ 算数少人数指導の実施
学年や発達段階、理解のスピードに合わせた算数指導で、一人ひとりの「やる気」を引き出します。
- ④ 教員の専門性を生かした指導の実施
音楽・図工・理科などでは、専門性の高い教員が子どもたちの「気づき」をサポートします。
- ⑤ 基礎学力定着のための取組
「チャレンジタイム」などを通じて、学習した基本部分の再確認や振り返りを進めていきます。

人とかかわるって面白い

2. 豊かな人間性の育成（「人とかかわるおもしろさ」を体感する）
学校における様々な取組や交流などを通じて、基本的な生活習慣や正しい判断力を身につけるだけでなく、地域社会の一員としての規範意識の醸成を図っていきます。

- ⑥ 規範意識の醸成
子どもたちの成長ステージに合わせた、生活態度や判断力、社会性を身につけます。
- ⑦ 地域社会の一員としての自覚を育む取組
体験学習や異世代交流などを通じて、天沼地域の一員としての自覚を育みます。
- ⑧ すべての人とかかわって生きる喜びの醸成（インクルーシブな心の育成）
共に生きるすべての人たちと認め合い、尊重し合う心を育て、豊かな社会性を養います。

元気に育つって面白い

3. 心と体の健康づくり（たくさんの「おもしろいこと」に出会うために）
体力向上に向けた取組や食育を通じて、児童一人ひとりの心と体の健康づくりに力を注いでいきます。

- ⑨ 体力の向上と健康の増進
体育の授業や朝遊びなどを通じて、「心と体の健康づくり」を進めます。
- ⑩ 食育の推進
年間200回余の給食を通じて健康な体を作り、食べる喜びを実感できる取組を行います。
- ⑪ スクールカウンセラーとの連携を通じた心の教育の推進
必要と感じた時に、誰でも気軽にスクールカウンセラーに相談できる環境を整備します。

体験・交流するって面白い

4. 特色ある教育活動（「天沼小ならではの「おもしろさ」がここにある）
地域の人たちおよびゲストティーチャーなどの協力も得ながら、様々な体験学習を実施し、特色ある教育活動に取り組んでいきます。

- ⑫ 読書タイム、お話会、読書週間の実施、学習情報センターとしての学校図書館の役割
本に親しみ、読書への関心を高めるとともに、学校図書館は授業をサポートする学習情報センターとしての様々な取組を、学校司書と共に進めます。
- ⑬ 1～6年生までの学齢に応じた体系的なキャリア教育の実施
文部科学大臣表彰を受けた天沼小のキャリア教育。今年も引き続き力を入れていきます。
- ⑭ 日本の伝統・文化を理解する「ほんもの」に触れる多様な文化理解教育の実施
多彩なゲストティーチャーの協力のもと、日本文化や多様な文化の理解を通じて、国際的な感覚を身につけます。
- ⑮ ICTインフラの利活用
タブレット端末の積極利用や電子黒板・デジタル教科書の活用など、ICT利活用における先進の取組を推し進めていきます。
- ⑯ 天沼中学校区における小中連携教育活動の取組
天沼中・沓掛小との3校合同教員研修や、児童生徒の交流学習などを通じて連携を行い、取組を進めていきます。
- ⑰ 近隣の幼稚園・保育園と連携した「わくわく交流プロジェクト」の取組
幼保小連携の取組として、学校案内や読書活動などを通じた園児たちとの交流活動を行います。



家庭・地域から信頼される学校づくり

5. 家庭・地域から信頼される学校運営の実現（「おもしろいこと」を支える確かな基盤づくり）
各種施設の整備や登下校の安全確保など、安心・安全な教育環境の整備を行うと共に、保護者や地域の人たちと緊密に連携を取りながら、安定した学校運営を実現していきます。

- ⑱ 学校施設の安全、防犯、防災への取組
避難訓練やセーフティ教室を通じて、万が一の時に自分で身を守る力を身につけます。
- ⑲ 迅速かつ的確な情報の公開・提供
メール配信システムや学校HPを通じて、情報発信・情報公開を積極的に進めていきます。
- ⑳ 学校支援本部（あまぬまワンダラーズ）との連携による「かかわりつながり」を重視した地域学校協働活動の実施
学校支援本部との協働のもと、天沼小ならではの多彩な教育活動を推し進めます。
- ㉑ 「コミュニティ・スクール（地域運営学校）」としての学校運営
児童・保護者・地域の人たち、教職員等の様々な声をもとに「地域と共にある学校」としての取組をしっかりと進めていきます。